

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料
平成21年7月2日
こども青少年局企画調整課長
宮本 正彦
電話 671-4280

みんなで創る！

ヨコハマの次世代育成支援行動計画

～ 子育て支援シンポジウム 7/13(月)開催 ～

横浜市では今年度、横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜こども青少年プラン」の後期計画を策定します。

計画の策定にあたって、市民同士が意見交換し、後期計画への提案に向けて考える場としてシンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、分科会でのテーマごとの議論をふまえ、「横浜の子育て支援のこれからを考える」をテーマにパネルディスカッションを行います。

当日はぜひ取材にお越しください。取材の際は、会場受付までお立ち寄りください。

- 日時 平成21年7月13日(月)
分科会 10:00～12:00 全体会 13:00～15:30
- 会場 男女共同参画センター横浜 地図裏面
- 保育 6か月から未就学児(先着15名)。保育料無料
- 申込み 電話、FAX、e-mailで下記問合せ先までお申込みください。
先着150名 ※午前のみ、午後のみでもお申込みいただけます。
- 問合せ こども青少年局企画調整課
電話 045-671-4281 FAX 045-663-8061
e-mail kd-kikaku@city.yokohama.jp
- 主催 横浜市こども青少年局
共催 よこはま一万人子育てフォーラム、男女共同参画センター横浜

【プログラム】

| | |
|-------|---|
| 10:00 | ■分科会 |
| | 分科会1 地域子育て支援のネットワークを考える |
| | 分科会2 妊娠期～乳幼児期までの支援をトータルで考える |
| | 分科会3 子育て家庭を応援する預かり保育のこれからの考える |
| 12:00 | 休憩 |
| 13:00 | 横浜市の子育てを取り巻く現状について |
| 13:30 | ■全体会 パネルディスカッション 『横浜の子育て支援のこれからの考える』 |
| | コーディネーター 財団法人横浜市国際交流協会 理事長 前田 正子 |
| | パネリスト 横浜市次世代育成支援行動計画推進協議会委員 奥山 千鶴子 |
| | 分科会1～3代表 横浜市こども青少年局企画調整課長 宮本 正彦 |

裏面あり

分科会

分科会 1

地域子育て支援のネットワークを考える

地域の子育て力を高めるために、ネットワークはどうあるべきか。どことつながり（ネット）、何をしていくのか（ワーク）、実態のあるネットワークづくりを考えます。

分科会 2

妊娠期～乳幼児期までの支援をトータルで考える ～赤ちゃん訪問、産後支援、居場所との連携など

子育て支援メニューは多様化しています。しかし、十分に機能しているのでしょうか？ 必要な当事者に届いているのでしょうか？ 地域子育て支援の現場からは「ここをこうしたらもっとよいものになるのに」「こう連携したら支援のスキマが埋まるのに」という声も聞こえてきます。妊娠～出産～産後すぐ～乳児期～幼児期。親と子の、それぞれのタイミングにあった情報が的確に手渡され、支援が効果的に活用されるための仕組みや工夫を考えます。

分科会 3

子育て家庭を応援する預かり保育のこれからを考える ～長期休みの幼稚園預かり保育、自主保育など

保育所待機児童数の増加、就労を希望する女性の増加などの状況をふまえ、4・5歳児の7割が通う幼稚園を活用した預かり保育の充実を中心に、子どもも親も充実した時間を過ごせる預かり保育のこれからを考えます。